本校最長子配布

学校目標「**全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む**」

高木瀬小学校 学校だより

第8号
R8.10.28発行
文 責:橋 口

第2回学校運営協議会を受けて
～学校は家庭に学校改革を分かりやすく伝えているのか？～

10月2日（金）に第2回の学校運営協議会を開催しました（内容については、10月7日のリーバーにて各ご家庭にお届けしております）。

当日は、「現在の学校改革が学校教育目標の達成に向かっているのか」について熟議を行ったのですが、その熟議中のご意見でハッとしたことがあります。それは、「学校が一生懸命に取組んでいる学校改革が、家庭に十分に伝わっているのか？」ということです。学校運営協議会委員の中には本校保護者もおられます。学校教育に非常に関心の高い方々ですが、その方々からも「十分とは言い難い」とご意見をいただきました。日ごろから、学校と家庭の両輪で子ども達を育んでいこうと申し上げながら、発信が足りていなかったと反省をしています。

情報発信が十分でなかったことから、この大きな転換に対し、「本当に必要な学力がつくのだろうか」「もっと厳しく、すべきことをするように指導してほしい」と、不安や戸惑いを感じられるサポーターの方もいらっしゃるかと思います。しかし、正解のない予測不能なこれからの時代、誰かの指示を待つ従順さだけでは生き抜くことが困難です。大切なのは「自分の人生の主体は自分である」と自覚し、自分が選んだ道を正解にしていく力であり、それこそが子どもたちの将来の幸せに繋がると確信しています。

この未知なる教育改革に挑むにあたり、私たち教職員もまた、激しい「産みの苦しみ」を味わいながら日々葛藤しています。先進校や講師から学びつつも、それを決して妄信することはありません。「本当に本校の児童の実態に合っているのか」「10 年後の子どもたちに責任をもてる取組みであるか」を、一つひとつ泥臭く議論し、慎重に吟味を重ねています。そして「正解が分からないから」と立ち止まることなく、覚悟を持って一歩ずつ前へ進めています。

学校サポーターの皆様、私たちと共に子どもたちの可能性を信じて伴走していただけないでしょうか。未来を切り拓く子どもたちの挑戦を、学校と家庭が手を取り合い、温かく力強く応援していきましょう。






各部会の話し合いの様子

【学校改革の概要】　　子どもが「権利の主体」であることを尊重した学校改革

職員が4部会（まなび部・くらし部・からだ部・こころ部）に分かれて改革を進めています。

- まなび部・・・授業改善、家庭学習の充実・改善、タブレットPC のスキルの向上、読書習慣の形成
- くらし部・・・ルールシンキングのシステムづくり、主体的な環境美化活動
- からだ部・・・運動会改革、思考する安全教育、体育の授業実践
- こころ部・・・目的思考による行事改革、ほめほめ活動の見直し、児童会活動の充実・改善

※10月7日発信の第2回学校運営協議会だよりには、4部会（まなび部・こころ部・からだ部・くらし部）の各部が今年度前半にどういった取組みを行ってきたかが分かる資料を添付しています。ぜひ、ご覧ください。

本校最長子配布

学校目標「**全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む**」

帰宅時刻について

これまで、4月～9月は18時、10月～3月は17時と帰宅時刻を佐賀市生徒指導連絡協議会や学校が決めていました。同時刻には防災無線で音楽とアナウンスが流れ、帰宅を促しています。

しかし、家庭のことを学校が「きまり」として決めることは越権ではないかと考えます。習い事や塾の都合だけに限らず、各ご家庭にはそれぞれの事情がおありだと思います。もちろん、子ども達には、日没以降は交通事故や犯罪などのリスクが高まることと同時に目安となる時刻の指導はしますが、登校時刻や放課後の過ごし方などと同じく、家庭のことは各ご家庭で決めるべきではないかと考えます。

「学校が決めてくれたら楽なのに」と思われる気持ちも分かりますし、各家庭で帰宅時刻が違うことでトラブルが生じることもあるかと思います。しかし、そういう事態こそが学びのチャンスです。人に振り回されたり、友だち付き合いに我慢ばかりしたりしないように育むためには、自分のことは自分で決め、それを周りに理解してもらえるよう伝える力、自分の考えや思いを通し抜く力も必要です。



「うちは何時にするのか」をお子さんとぜひ話し合ってください。「何時にするのか」よりも、その話し合いの過程が大事です。お子さんが納得するまで話し合いをされることをお勧めします。

できるだけ「歩いて登下校」を！

本校では、保護者の皆様を大切な「学校サポーター」とお呼びし、共に子どもたちを育むパートナーとして歩ませていただいております。本日は、子どもたちの命に関わる大変重要なお願いがあります。

先週 10 月 23 日（金）の下校時のことです。当日は雨が降っておりましたが、傘を差して歩けないほどの激しい大雨ではありませんでした。しかし、お子様を心配されるあまりか、次から次へと敷地内に多くのお迎えの車が進入してまいりました。その結果、敷地内で車同士の「離合（すれ違い）」ができなくなり、完全に身動きがとれない「膠着（こうちゃく）状態」に陥ってしまいました。

当時、傘を差して歩いて下校していた子どもたちは、車の動きを気にしながら、車を避けつつ危険な状態で歩いていました。複数の職員が慌てて飛び出し、雨の中で交通整理を行い、幸いにも事故なく全ての車を送り出すことができましたが、一歩間違えれば事故に繋がりかねない極めて危険な状況でした。

これまでも本校では、駐車場の広さや学校周辺の道路事情を踏まえ、できるだけ「歩いて登下校」することへのご協力をお願いしてまいりました。現在、ほとんどの学校サポーターの皆様には、この方針を深くご理解いただき、ルールを守っていただいております。しかし、ごく一部の方による行為によって、他の多くの子どもたちの安全が脅かされているのが現状です。

もちろん、足の怪我や急な体調不良など、やむを得ない事情がある場合はその限りではございません。その際は、どうぞ安心してお車でお迎えに来てあげてください。

学校は、すべての子どもたちにとって安全で安心な場所でなければなりません。「これくらいなら大丈夫」「うちだけなら…」という小さな油断や甘えが、取り返しのつかない事故に繋がることがあります。どうか今一度、我が子だけでなく、すべての子どもたちの安全を守る「学校サポーター」として、徒歩登下校へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



授業参観、ありがとうございました

10 月 9 日(金)は平日の午前中にも関わらず、多数の保護者の皆さまにご来校いただきました、ありがとうございました。概ね好評をいただきましたが、気になること（教室環境・指導方法）についてのご意見もいただきました。すぐに職員で共有をし、改善に向かっています。本校のことを思ってのご意見は学校改善のチャンスです。言いにくいことを言葉を選びながら伝えてくださり、感謝するばかりです。

今後もどうぞ気になられたことは、担任または管理職までお知らせいただければと存じます。